

建設省近畿地方建設局  
和歌山工事事務所

発表日時 平成12年11月 8日(水) 14時

資 料 配 付

件 名	－くらしを育む紀の川大堰－ 紀の川大堰長径間ゲートの一括据付
-----	-----------------------------------

取 り 扱 い	_____
---------	-------

同 時 配 布	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ 和歌山県政記者クラブ 和歌山県地方新聞記者クラブ 和歌山県政放送記者クラブ
---------	--

問 い 合 わ せ 先	建設省 近畿地方建設局 和歌山工事事務所 TEL 073-424-2471 (代表) 事業対策官 竹田 光一 (内線301) 機械課長 中田 昌利 (内線491)
-------------	--

## 紀の川大堰制水ゲート・流量調節ゲートの一括据付について

### 1. 概要

平成12年11月から制水ゲート1門、流量調節ゲート2門（上段扉・下段扉）のゲートの据付が始まります。

### 2. 据付工法

紀の川大堰では、ゲートの製作をすべて工場で行い、完成したゲートを水上運搬して一括据付する工法を採用し、製作精度の向上、工費の縮減をはかっています。なおこれは、建設省直轄の大規模堰建設工事では初めて採用した工法です。

### 3. 据付予定

- ・ 流量調節ゲート 1門（下段扉）  
水上運搬日 平成12年11月 9日（木） 和歌山港出発 8時の予定  
ゲート据付日 平成12年11月11日（土） 13時30分~15時30分
- ・ 流量調節ゲート 1門（上段扉）  
水上運搬日 平成12年11月22日（水） 和歌山港出発 7時の予定  
ゲート据付日 平成12年11月24日（金） 13時30分~15時30分
- ・ 制水ゲート 1門（G3ゲート）  
水上運搬日 平成12年11月10日（金） 和歌山港出発 8時30分の予定  
ゲート据付日 平成12年11月27日（月） 13時30分~15時30分

\* 天候不順の場合、据付日が順延となる可能性がありますので問い合わせをお願いします。

### 4. ゲート構造

- ・ 制水ゲート  
形 式 鋼製シェル型ローラーゲート  
扉体寸法 扉体長51,198mm×扉体高7,100mm×扉体幅4,700mm  
扉体重量 約484t/門
- ・ 流量調節ゲート  
形 式 スライド式鋼製シェル型ローラーゲート  
(上段扉)  
扉体寸法 扉体長39,700mm×扉体高3,900mm×扉体幅3,000mm  
扉体重量 約189t/門  
(下段扉)  
扉体寸法 扉体長39,700mm×扉体高3,700mm×扉体幅3,200mm  
扉体重量 約285t/門

### 5. その他注意事項

- ・ 水上運搬日については、受付場所を設置していませんので各自で対応してください。（別紙水上運搬経路図参照）
- ・ ゲート据付日については、紀の川大堰管理橋上(右岸・園部側)にて受付場所を設置しますので御記名の上、現場内に入ってください。（別紙案内図参照）

# 水上輸送経路図



# 案内図

和歌山市

和歌山市園部側

受付場所

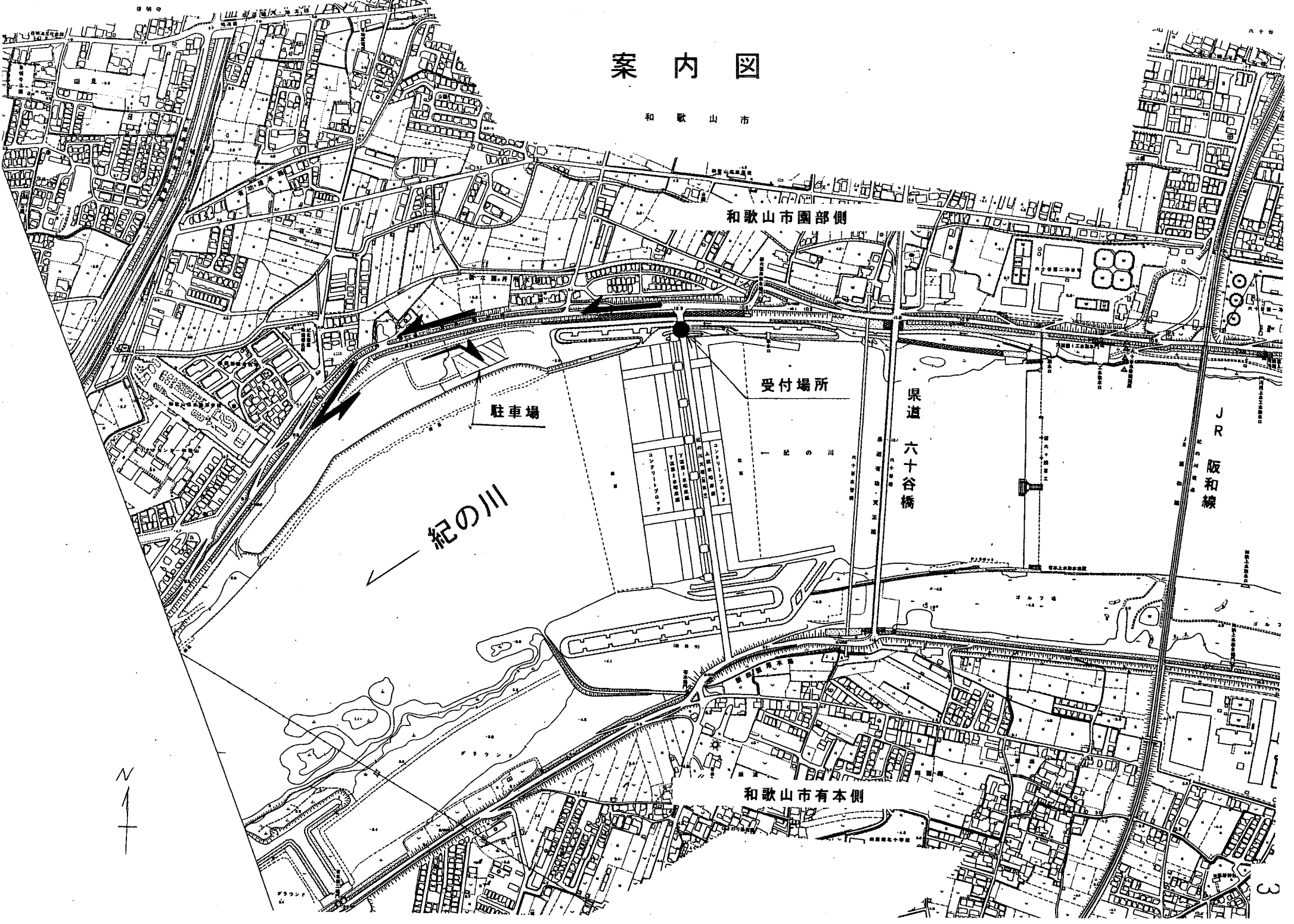
駐車場

紀の川

県道 六十谷橋

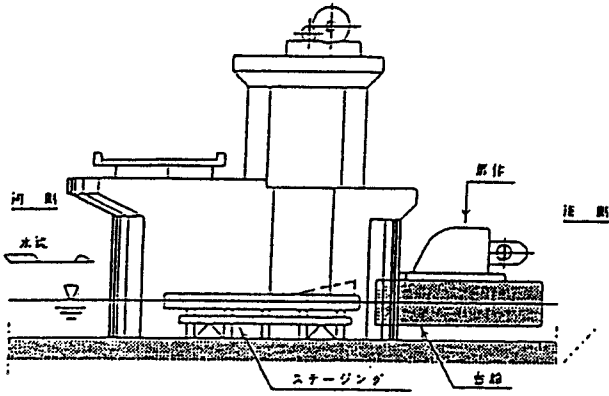
JR 阪和線

和歌山市有本側

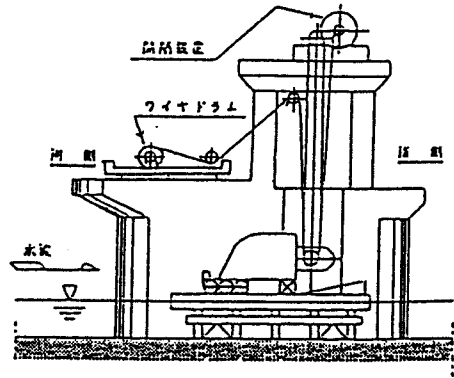




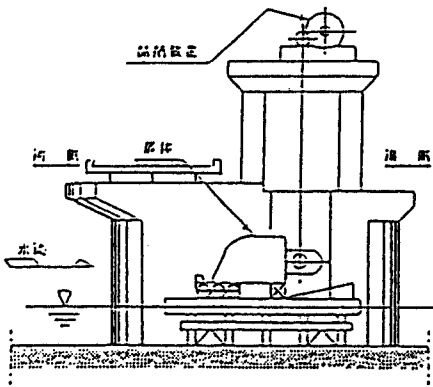
## 制水ゲート据付要領



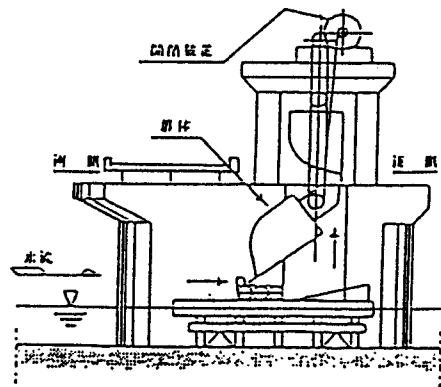
- 1) 扉体搬入前に架設ステージを  
設置します。



- 3) 堰柱上にワイヤードラムを仮置き、  
メッセンジャーワイヤを介してワイヤ  
ードラム→扉体滑車→本ドラム  
の順に通しワイヤリングを行います。  
尚、本体の閉鎖装置は、扉体の搬入前  
に据付を完了させておきます。



- 2) 台船上の扉体搬入後、架設ステー  
ジングに扉体を受けさせ、バラスト  
調整及び湖位の低下後、台船を撤去  
させます。



- 4) ワイヤリング完了後、本体の閉鎖装置  
を利用し、扉体を巻上げると共に扉体  
受け台車を移動させ扉体を反転させ所定  
の据付位置まで巻上げます。



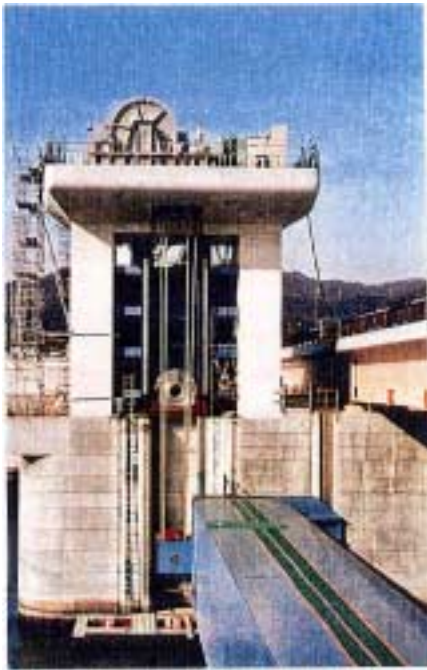
## 制水ゲート据付工程写真（平成11年2月）



堰柱間への進入状態



扉体架設ステージング上仮置状態



扉体吊り上げ準備完了

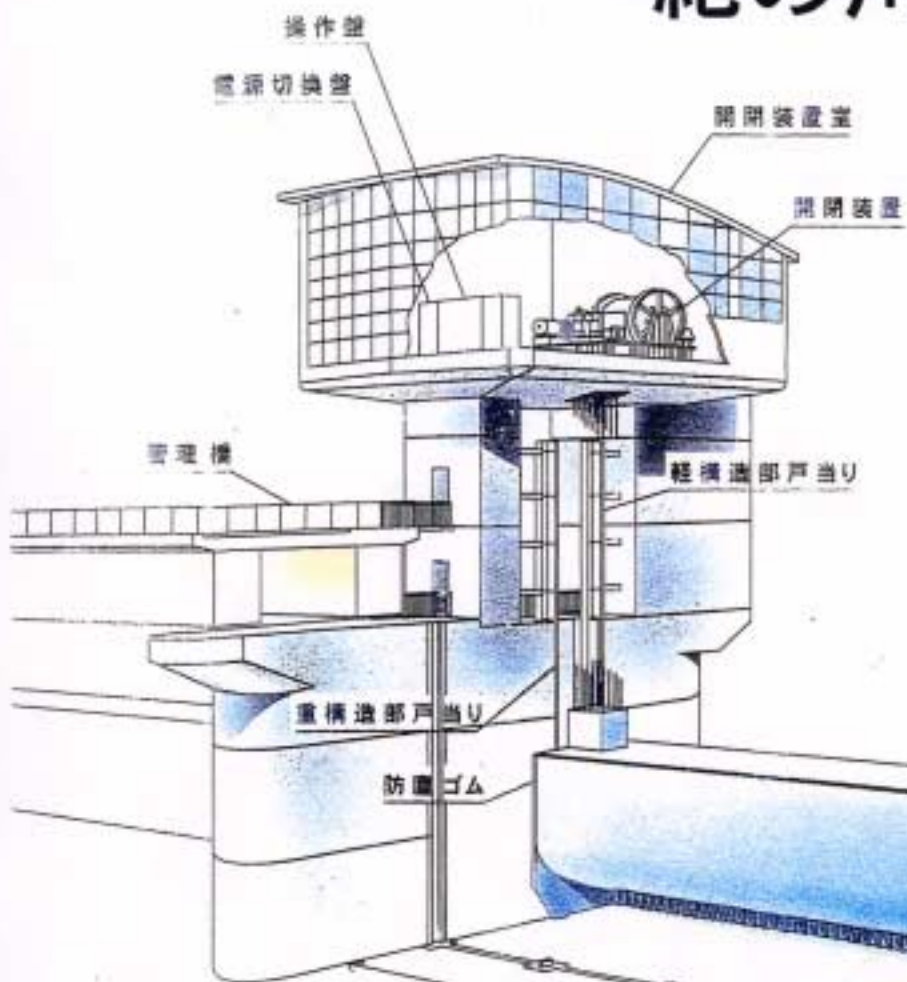


扉体立越作業中

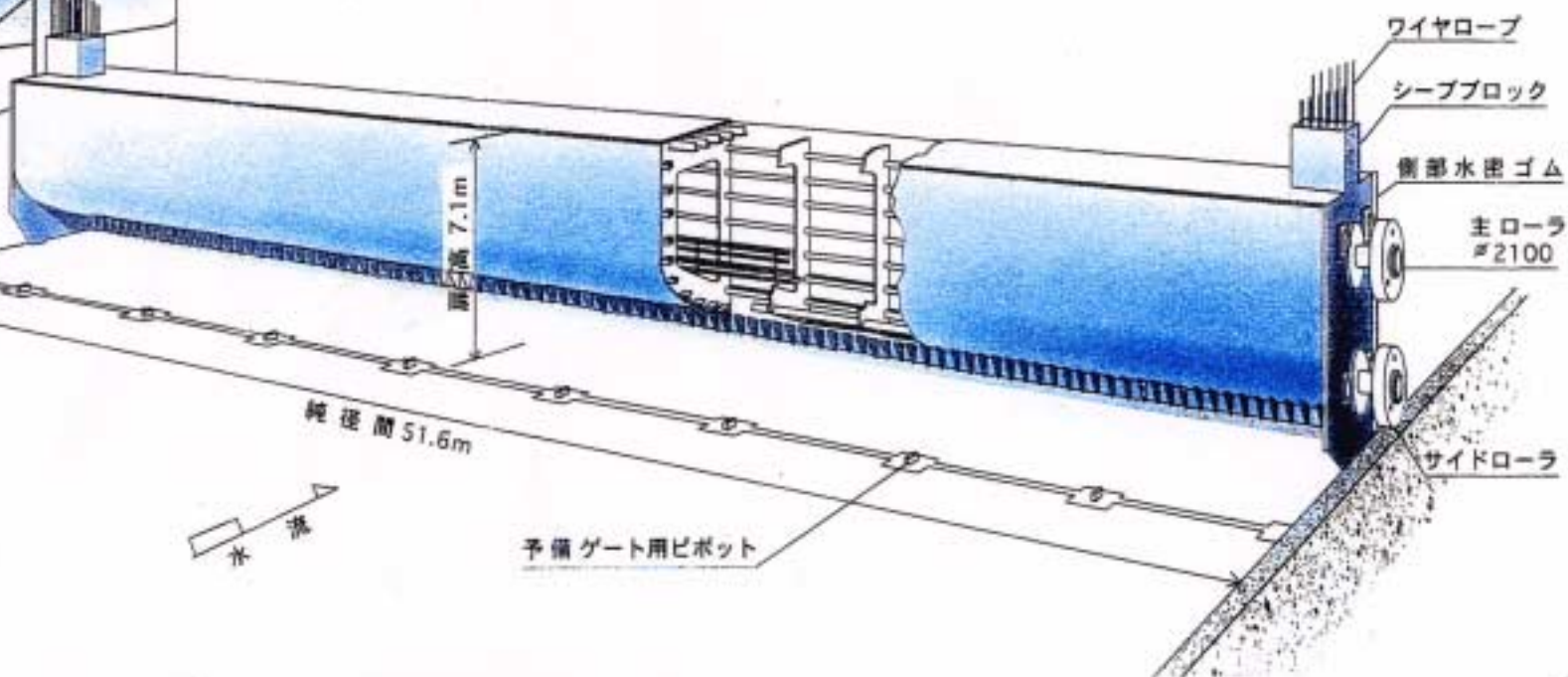


吊り上げ完了

# 紀の川大堰制水ゲート

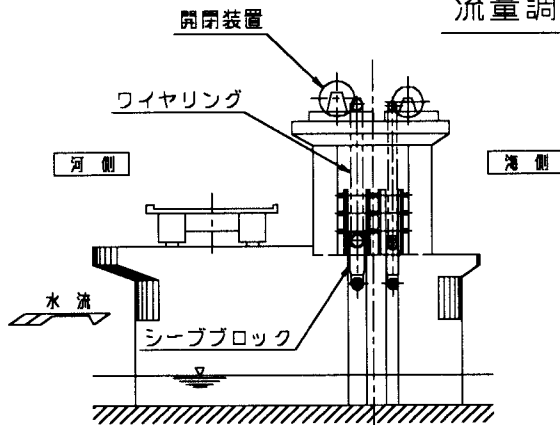


扉体長さ(純径間)は51.6m、全高さは(扉高)7.1mです。  
扉体は1分当たり30cm上下します。  
全閉から全開迄の距離(揚程)は13.1mあり、ゲートを上迄上げるのに約44分掛かります。

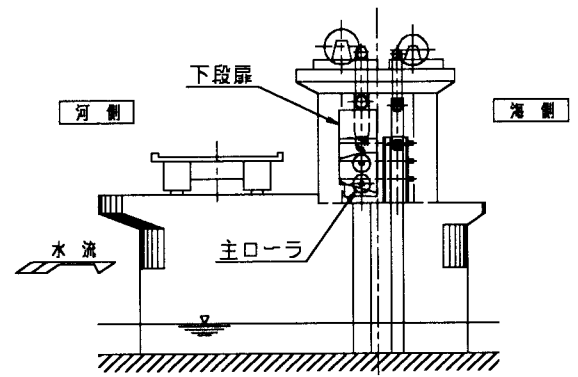




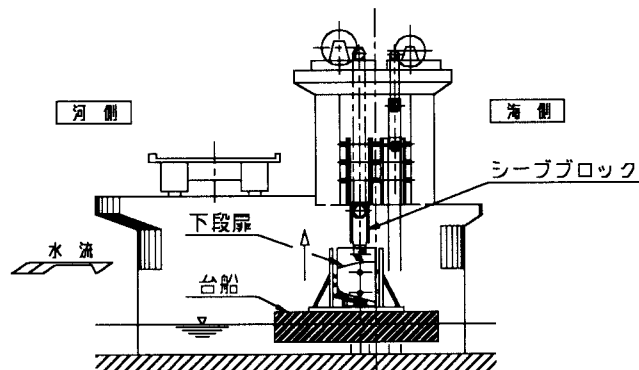
## 流量調節ゲート（上下段扉）据付要領



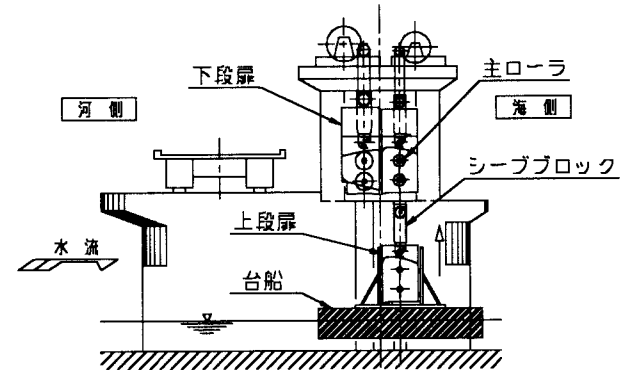
- 1) シーブブロックと開閉装置は扉体搬入前にあらかじめワイヤリングしておきます。



- 3) 主ローラ仮置位置まで扉体を巻上げ、扉体にセットされた軸を押し出して主ローラを取付けます。



- 2) 下段扉を起立させた状態で、台船を堰柱間に進入させます。  
シーブブロックを巻下げ、扉体にセットされた吊軸を挿入して連結します。  
扉体を巻上げ、輸送台船を撤去します。



- 4) 上段扉も下段扉と同様な手順で据付を行います。

## 流量調節ゲート据付工程写真（平成8年11月）



堰柱間への進入状態

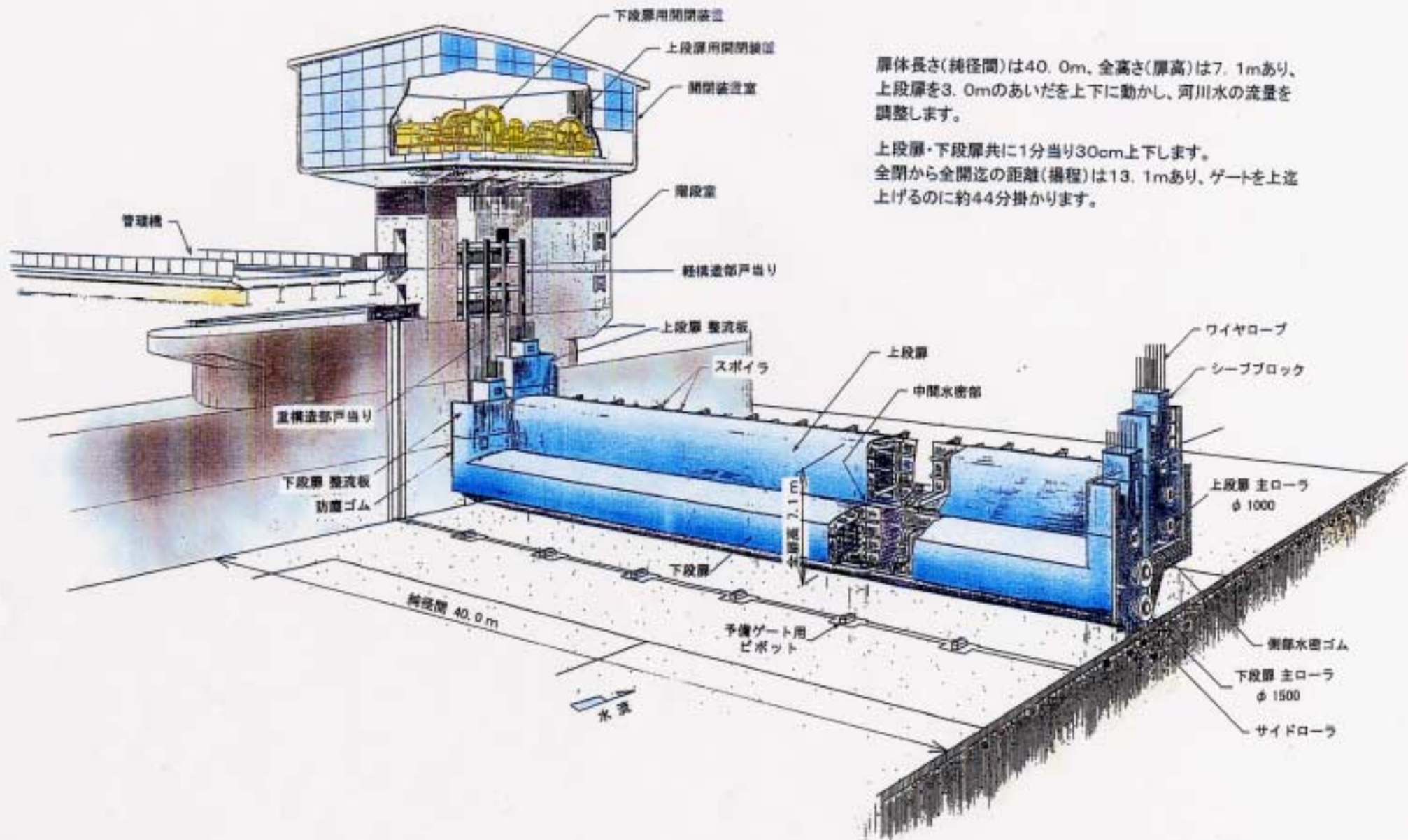


ゲートとシーブブロック連結作業中



開閉装置を使用して扉体を引き、上げ台船を撤去させた状況

# 紀の川大堰流量調節ゲート



扉体長さ(純径間)は40.0m、全高さ(扉高)は7.1mあり、上段扉を3.0mのあいだを上下に動かし、河川水の流量を調整します。

上段扉・下段扉共に1分当り30cm上下します。全閉から全開迄の距離(揚程)は13.1mあり、ゲートを上述上げるのに約44分掛かります。